

平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年7月23日

上場取引所 大

上場会社名 B-R サーティワン アイスクリーム株式会社
コード番号 2268 URL <http://www.31ice.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 尾崎 仙次

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 渡辺 裕明

四半期報告書提出予定日 平成24年8月8日

配当支払開始予定日

TEL 03-3449-0331

平成24年9月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	9,082	4.4	609	△7.8	641	△6.0	350	31.0
23年12月期第2四半期	8,699	4.7	660	△25.8	682	△24.6	267	△48.2

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年12月期第2四半期	36.33	—	—	—
23年12月期第2四半期	27.74	—	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
24年12月期第2四半期	14,704		10,062		68.4
23年12月期	14,600		10,092		69.1

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 10,062百万円 23年12月期 10,092百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
23年12月期	—	40.00	—	40.00	80.00
24年12月期	—	40.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	21,650	7.9	3,050	4.8	3,100	4.0	1,720	12.2	178.50

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(1)「四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無
- (3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期2Q	9,644,554 株	23年12月期	9,644,554 株
② 期末自己株式数	24年12月期2Q	8,561 株	23年12月期	8,561 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期2Q	9,635,993 株	23年12月期2Q	9,636,018 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
当社は、当第2四半期決算短信提出後速やかに当社ホームページに決算説明の動画を配信する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間(平成24年1月1日～6月30日)における我が国経済は、企業の設備投資や雇用情勢に緩やかな持ち直しの動きが見られるなど、東日本大震災後の厳しい経済環境からは回復基調にあるものの、デフレの影響、長引く電力供給不安、消費税率引き上げ・年金制度改革の議論に加え、欧州金融不安の継続等によって、景気の先行きは依然不透明な状況となっています。また個人消費につきましても依然として生活防衛意識や節約志向が続いており、外食産業は厳しい状況下にあります。

このような環境の下で、当社ではサーティワンアイスクリームの永遠の経営モットーであります“*We make people happy.*”「アイスクリームを通じて人々に幸せを。」をスローガンに、全てのお客様に高品質で美味しいアイスクリームと“FUN”に満ちたひとときを提供し、日本で最も愛され親しまれるチェーンとなることを目指すとともに、企業の継続的成長の維持と、企業価値の増大に努めてまいりました。

営業面においては、1月はアイスクリームの詰め合せ商品であるバラエティパックをお買い上げのお客様に、‘スヌーピー’スイーツコレクショングラスをプレゼントするプロモーション(1月1日～1月22日)を実施し、フレーバーのバラエティさ・楽しさを訴え、高単価商品の拡販とヘビーユーザーの再来店を促進いたしました。

2月には「ハッピーバレンタイン」(1月23日～2月14日)として、期間限定の新商品デコポップシューやハート型アイスクリームケーキ“ハートオンハート”、バレンタイン仕様のフレッシュストロベリーサンデーやハッピードール、バレンタインに因んだアイスクリーム4種類(ラブインベリー、キューピッドハート、ラブストラックチーズケーキ、ラブポーションサーティワン)を発売するとともに、店頭店内をバレンタイン一色に飾りつけ、消費者の購買意欲を高めました。

3月の「ひなまつり」(2月15日～3月3日)では、“ひなだんかざり”、“おひなさまカップ”、“苺おひなさまカップ”や、ひなまつり仕様のアイスクリームケーキなど期間限定商品を強化し、オケージョン商戦の売上を確保いたしました。

また、季節に合った苺の美味しさをたっぷり味わえる“フレッシュストロベリーサンデー”フェア(3月4日～3月23日)を実施し、アイスクリーム専門店にしかできないサーティワンならではのシーズンサンデーを提供することにより、ブランドの差別化を図りました。

そして3月24日からは、昨年初めて実施し大好評を得た「ワンダフルイースター」(3月24日～4月22日)を今年も実施し、イースターらしいタマゴをモチーフにしたエッグカップサンデーや持帰り商品のイースターバラエティBOX、イースターに因んだアイスクリーム2種類(イースターエッグハント、チョコバナナ)を期間限定販売しております。

ゴールデンウィーク期間中(4月25日～5月6日)はダブルコーン・ダブルカップを31%値引きして提供するキャンペーンを実施し、期間中はTVCMで告知いたしました。

5月7日から5月30日は「ビバレッジプロモーション」を実施し、5月7日新発売の“ピンクストロベリーソーダ”を含めたビバレッジ商品をお買い上げのお客様全員に‘スヌーピー’ハンドタオルをプレゼントいたしました。

6月は、今年で10年目となります大好評の「チャレンジ・ザ・トリプル」(6月1日～7月16日、ダブルコーン・ダブルカップをお買い上げのお客様全員に1スクープをプレゼント)を実施し、TVCMにより強力にキャンペーン告知をいたしました。

また、誕生日やパーティなどにお使いいただけるバラエティパックの新商品“パーティーボックス”

(4月25日新発売)と、お土産や贈り物としてお使いいただける“ギフトボックス”(6月1日新発売)を導入し、テイクアウト需要、ギフト需要の拡充を図りました。

なお、5月13日には全国1,064店舗において2時間、ユニセフの募金をしてくださったお客様全員にレギュラー・シングルコーンを1つプレゼントする社会貢献イベント「フリースクープ」(今年で11年目)を実施し、全国で約83万人ものお客様にご参加いただきました。お客様よりお預かりした募金と、当社からの寄付金を合わせ、39,048,058円を(財)日本ユニセフ協会を通じ、東日本大震災被災地の方々の復興支援に役立てていただきました。

店舗開発の状況といたしましては、2009年から新しいロゴの看板と店舗デザイン「Hip Hop」を導入し、店舗イメージ刷新を図っております。新しい店舗は当期39店開設し、当第2四半期末の店舗数は1,116店舗と前第2四半期末に対して50店舗増加いたしました。改装は当期54店実施し、既存店へも新しい店舗デザインの導入促進をいたしました。

以上の結果、当第2四半期の売上高は90億82百万円(前年同期比4.4%増)となりました。

売上原価は、売上高の増加や原材料の値上げ等の影響により36億21百万円(前年同期比5.7%増)となりました。

販売費及び一般管理費は、48億51百万円(前年同期比5.2%増)となりました。主な増加要因は、業容拡大による人員増や直営店舗数増に伴う人件費の増加(78百万円)と店舗対策費の増加(47百万円)、直営店の賃借料やその他経費増(21百万円)及び、売上の増加に伴う物量増による物流費の増加(30百万円)であります。

この結果、営業利益6億9百万円(前年同期比7.8%減)、経常利益6億41百万円(前年同期比6.0%減)となりました。

また、四半期純利益は3億50百万円(前年同期比31.0%増)となりました。昨年は東日本大震災に伴う製品廃棄や被災地復興支援のための費用、及び「資産除去債務に関する会計基準」の適用に伴う費用を特別損失に計上しておりましたので、前年同期比では増益となっております。

なお、当社はアイスクリーム製品の製造及び販売等を行う単一セグメントのため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末における総資産は前事業年度末に比べ1億3百万円増加の147億4百万円となりました。当累計期間では配当金と法人税等の支払により現金及び預金は減少いたしましたが、7月以降の製品需要増に備えた製品及び原材料の増加、新規出店による賃貸店舗設備、直営店舗設備、敷金及び保証金の増加や富士小山工場耐震補強工事による建物の増加等が上回ったことから総資産は増加いたしました。

負債は前事業年度末に比べ1億33百万円増加の46億42百万円となりました。これは、法人税等の支払により未払法人税等は減少いたしましたが、原料仕入れの増加による買掛金や販売費及び一般管理費の増加に伴う未払金の増加等が上回ったため負債は増加となりました。

純資産は前事業年度末に比べ29百万円減少の100億62百万円となりました。これは主に剰余金の配当額が四半期純利益を上回ったため、繰越利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年2月6日に公表いたしました「平成23年12月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」の業績予想より変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当事業年度の予想税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,239,687	2,319,220
売掛金	3,045,929	3,047,354
製品	640,353	1,192,466
原材料	335,519	468,834
貯蔵品	218,569	154,303
前渡金	11,871	18,663
前払費用	134,707	150,143
繰延税金資産	93,748	89,954
未収入金	28,062	49,555
その他	30,457	80,477
貸倒引当金	△10,304	△14,428
流動資産合計	7,768,602	7,556,547
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,522,471	1,860,316
減価償却累計額	△1,092,515	△1,113,585
建物（純額）	429,955	746,730
構築物	195,248	195,248
減価償却累計額	△156,970	△158,336
構築物（純額）	38,278	36,911
機械及び装置	2,052,109	2,051,552
減価償却累計額	△1,589,977	△1,620,668
機械及び装置（純額）	462,132	430,884
賃貸店舗用設備	2,881,849	2,980,327
減価償却累計額	△1,520,945	△1,526,860
賃貸店舗用設備（純額）	1,360,903	1,453,466
直営店舗用設備	313,768	383,317
減価償却累計額	△97,065	△120,711
直営店舗用設備（純額）	216,703	262,605
車両運搬具	37,294	55,932
減価償却累計額	△18,751	△21,032
車両運搬具（純額）	18,542	34,900
工具、器具及び備品	655,795	659,005
減価償却累計額	△470,297	△502,588
工具、器具及び備品（純額）	185,498	156,417
土地	695,362	695,362
建設仮勘定	268,230	60,380
有形固定資産合計	3,675,607	3,877,658

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年6月30日)
無形固定資産		
ソフトウェア	194,889	180,091
電話加入権	17,065	17,065
無形固定資産合計	211,954	197,156
投資その他の資産		
投資有価証券	24,949	27,253
従業員に対する長期貸付金	12,013	11,331
破産更生債権等	236,615	274,341
長期前払費用	530,922	555,374
繰延税金資産	132,961	132,518
敷金及び保証金	2,080,835	2,163,783
その他	19,685	20,302
貸倒引当金	△93,470	△111,760
投資その他の資産合計	2,944,512	3,073,143
固定資産合計	6,832,074	7,147,959
資産合計	14,600,677	14,704,507
負債の部		
流動負債		
買掛金	529,888	726,214
未払金	1,210,192	1,460,052
未払費用	27,477	29,092
未払法人税等	566,660	281,957
未払消費税等	37,509	—
前受金	540,768	473,863
預り金	106,009	200,185
賞与引当金	32,571	30,723
役員賞与引当金	17,000	4,000
その他	59,489	17,175
流動負債合計	3,127,566	3,223,263
固定負債		
退職給付引当金	143,012	153,614
役員退職慰労引当金	65,400	71,400
資産除去債務	73,261	81,362
長期預り保証金	1,099,228	1,112,479
固定負債合計	1,380,902	1,418,855
負債合計	4,508,469	4,642,119

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	735,286	735,286
資本剰余金		
資本準備金	241,079	241,079
資本剰余金合計	241,079	241,079
利益剰余金		
利益準備金	168,676	168,676
その他利益剰余金		
別途積立金	4,140,000	4,140,000
繰越利益剰余金	4,836,010	4,800,678
利益剰余金合計	9,144,687	9,109,355
自己株式	△16,893	△16,893
株主資本合計	10,104,159	10,068,827
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△833	△231
繰延ヘッジ損益	△11,117	△6,208
評価・換算差額等合計	△11,951	△6,440
純資産合計	10,092,207	10,062,387
負債純資産合計	14,600,677	14,704,507

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	8,699,301	9,082,787
売上原価	3,427,059	3,621,929
売上総利益	5,272,241	5,460,858
販売費及び一般管理費	4,611,756	4,851,858
営業利益	660,484	609,000
営業外収益		
受取利息	448	309
店舗用什器売却益	30,843	42,661
その他	4,988	3,081
営業外収益合計	36,280	46,052
営業外費用		
店舗設備除去損	13,152	12,167
その他	1,339	1,516
営業外費用合計	14,491	13,684
経常利益	682,272	641,368
特別利益		
受取保険金	8,824	—
その他	1,846	—
特別利益合計	10,671	—
特別損失		
固定資産売却損	—	10,544
固定資産廃棄損	4,203	6,299
災害損失	189,239	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	26,009	—
特別損失合計	219,453	16,844
税引前四半期純利益	473,490	624,523
法人税等	206,206	274,416
四半期純利益	267,284	350,107

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。